

3. 差異及び修正の理由

当第2四半期累計期間におきましては、ゆるやかな景気回復が続いているものの、菓子業界につきましては、先行きの不透明感からくる消費意欲の冷え込みや企業間の競争激化等により大変厳しい状況となりました。

このような環境の下、売上高につきましては、発売30周年を迎えた「カラムーチョ」ブランド等、好調に推移した製品もありましたが、売上全体では前回発表予想数値と比べ373百万円下回り、15,627百万円となりました。

利益面については、売上高の未達に起因する粗利の減少に加え、計画していた販売促進費等の削減が低調に推移したことにより、当初の利益計画を下回る結果となりました。

以上により、第2四半期累計期間において連結業績予想と実績値について差異が生じてしまいました。

通期の連結業績予想につきましては、新製品発売による売上の増加及び効果的に販売促進活動を行うことによる費用の抑制を行ってまいりますが、最近の業績の動向を踏まえ、売上高、利益とも下方修正いたします。

※上記の予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいて作成しており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

以 上